

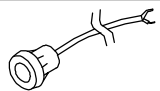



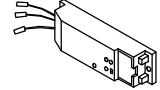



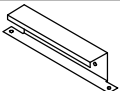
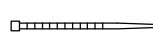
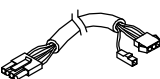
シャッター光電センサー用取付説明書

—テグラシャッター・ラスコートシャッター・フレームシャッター電動タイプ・特注光電センサー仕様—

このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

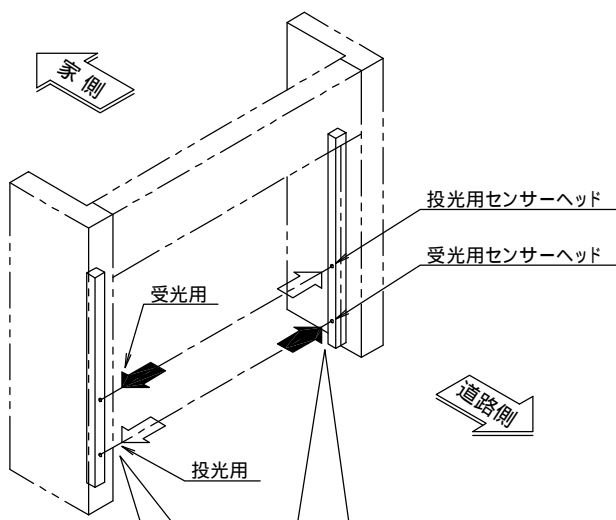
この取付説明書では、「特注光電センサー仕様」の施工方法に関して説明をしています。各シャッターの本体取付説明書と合わせてお読みください。

梱包明細表 [シャッター部品セットに以下の部材を追加梱包しています]

名 称	略 図	員 数	名 称	略 図	員 数
投光用センサーヘッド		2	光電スイッチケーブルB		1
受光用センサーヘッド		2	光電スイッチケーブルC		1
光電センサー制御装置		1	4×13 ナベテクスネジ		2
光軸調整スペーサー		4	4×10 トラス タッピンネジ2種		2
制御装置取付金具		1	結束バンド		20
光電スイッチケーブルA		1	取付説明書(本紙)	—	1

1. センサーヘッドの取付け

この作業は「ブラケットの取付け」前に行ってください



センサーヘッドのコードをレールステイに通してある針金を使用して上まで通してください。

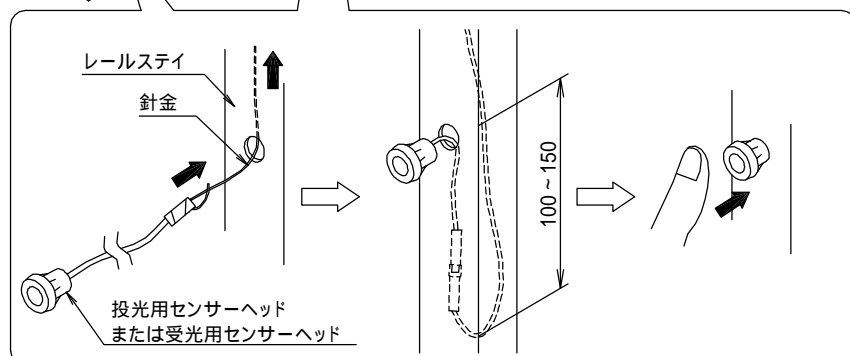
補足

投光用センサーヘッドは灰色コード、受光用センサーヘッドは青色コードで長さは10mです。左右のレールステイの2箇所に通して対になるようにコードを通してください。

コードに20cm～30cmの余裕を持たせて、センサーヘッド本体をレールステイの取付面に対して傾かないように手でしっかり押し込んでください。

注意

コードの余裕が少ないとメンテナンス時の作業性に支障をきたします。センサーヘッド本体をハンマー等の工具を使って叩き込まないでください。破損する恐れがあります。センサーヘッドに傾きがあるとセンサーが正常に作動しないことがあります。



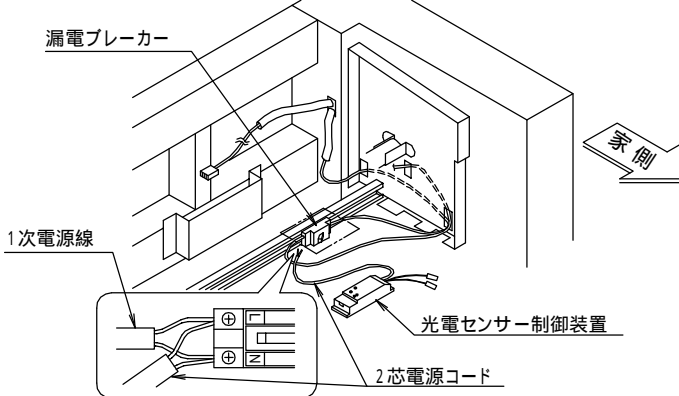
2. 光電センサー制御装置への結線 この作業は「下限設定」の直前に行ってください

2-1 電源の接続

注意

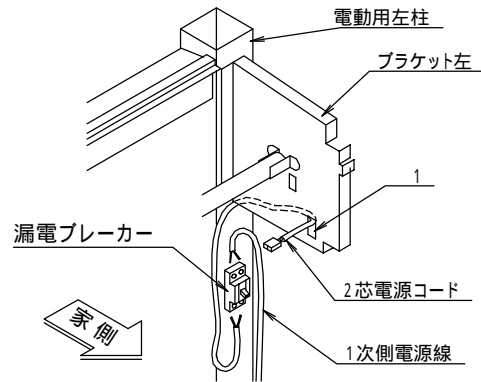
漏電ブレーカーのスイッチがOFFになっていることを確認してください。感電のおそれがあります。

(1) テグラシャッター・ラスコートシャッターの場合



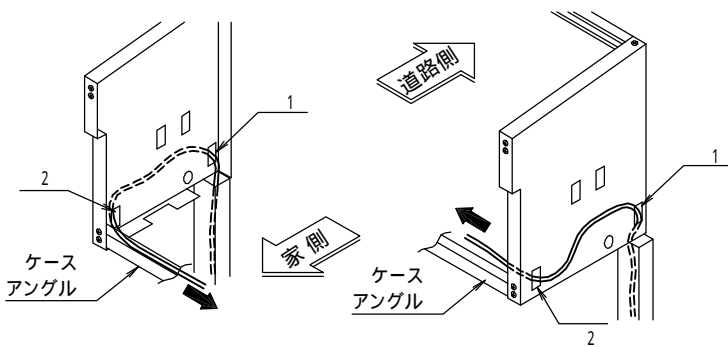
光電センサー制御装置からでている2芯電源コードの先端コネクタをカットして、漏電ブレーカーの負荷側に接続してください。

(2) フレームシャッターの場合



光電スイッチケーブルC(2芯コード、1000mm)を漏電ブレーカー負荷側に接続し、ブラケット左家側の角穴(1)に通してください。

2-2 センサーヘッドコードの配線



センサーヘッドコードを左右のブラケットの道路側の角穴(1)から一旦外側に出し、家側の角穴(2)から再び内側に通ってください。

外観右側からのセンサーヘッドコードはケースアングルまたはシャッターボックス下枠の上面に結束バンドで固定しながら、外観左側まで配線してください。

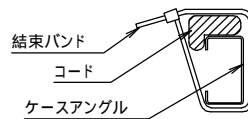


図2-1 ラスコートシャッター
テグラシャッターの場合

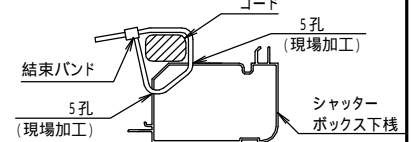
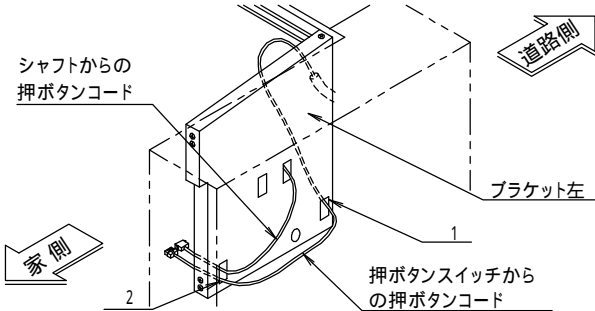


図2-2 フレームシャッターの場合

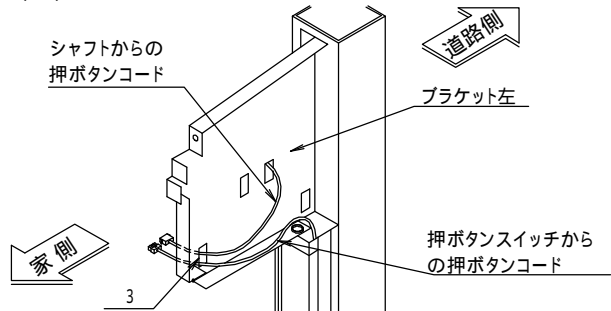
2-3 押ボタンコードの配線

(1) テグラシャッター・ラスコートシャッターの場合



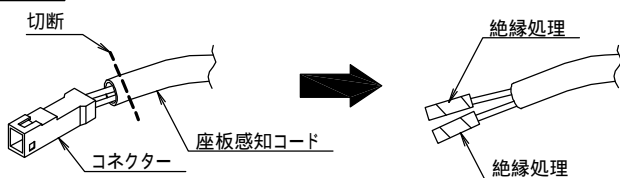
側壁のCD管から出ている押ボタンコードをブラケット左の道路側穴(1)からケース外に出し、再び家側穴(2)からケース内に戻してください。

(2) フレームシャッターの場合



シャフトと押ボタンスイッチから出ている押ボタンコードをブラケット左家側の角穴(3)から中に入れてください。

2-4 座板感知コードの絶縁処理

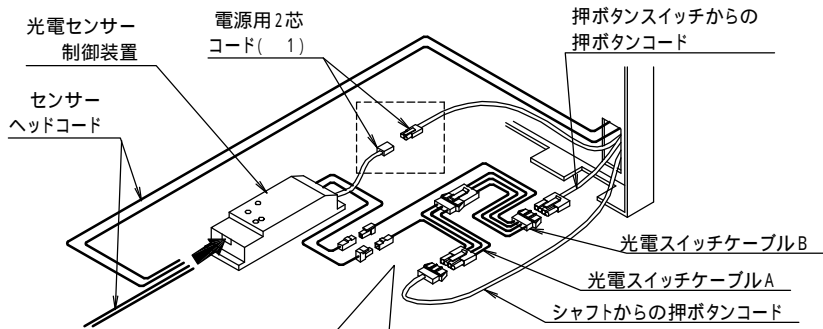


特注光電センサー仕様では座板感知コードを使用しません。先端のコネクタを切り離し、電線を1本ずつビニール絶縁テープ等を用いて絶縁処理してください。

ポイント

絶縁処理が不完全な場合、電動操作時に座板感知機能が働いて作動不具合が発生することがあります。

2 - 5 光電センサー制御装置への接続



光電スイッチケーブルAと光電スイッチケーブルBの3芯コネクタを接続してください。(図2-3参照)

光電センサー制御装置から出ている2本の1芯コネクタを光電スイッチケーブルA、光電スイッチケーブルBに接続してください。(図2-4参照)

光電スイッチケーブルA、光電スイッチケーブルBの両端の4芯コネクタを押ボタンコードとシャフトから来ているコネクタに接続してください。(図2-5参照)

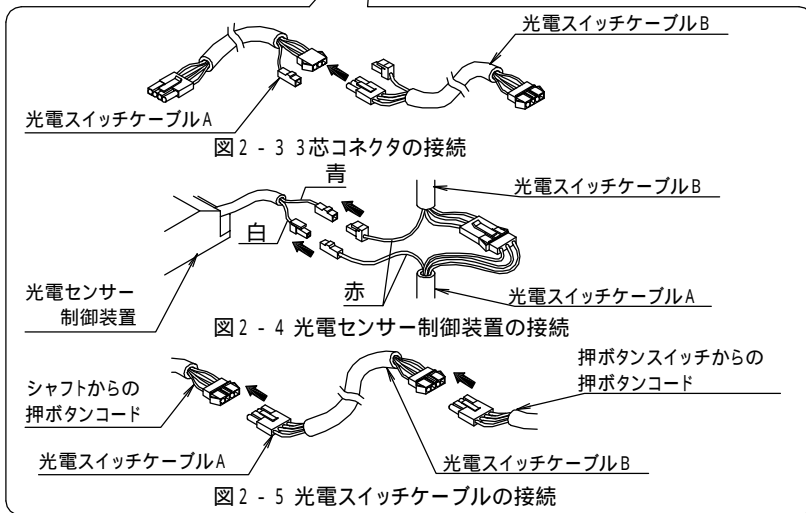


図2-3 3芯コネクタの接続

図2-4 光電センサー制御装置の接続

図2-5 光電スイッチケーブルの接続

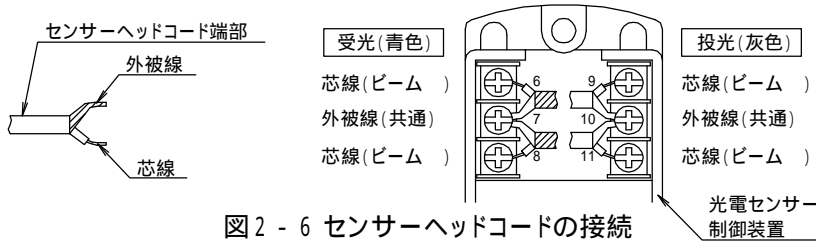


図2-6 センサーヘッドコードの接続

補足

フレームシャッターの場合は、光電センサー制御装置から出ている電源用2芯コードと漏電ブレーカーにつながっている電源用2芯コードのコネクタを接続してください。(1)

光電センサー制御装置のカバーを外し、センサーヘッドコードを端子台6～11番に接続してください。(図2-6参照)

3. 光電センサー制御装置の固定

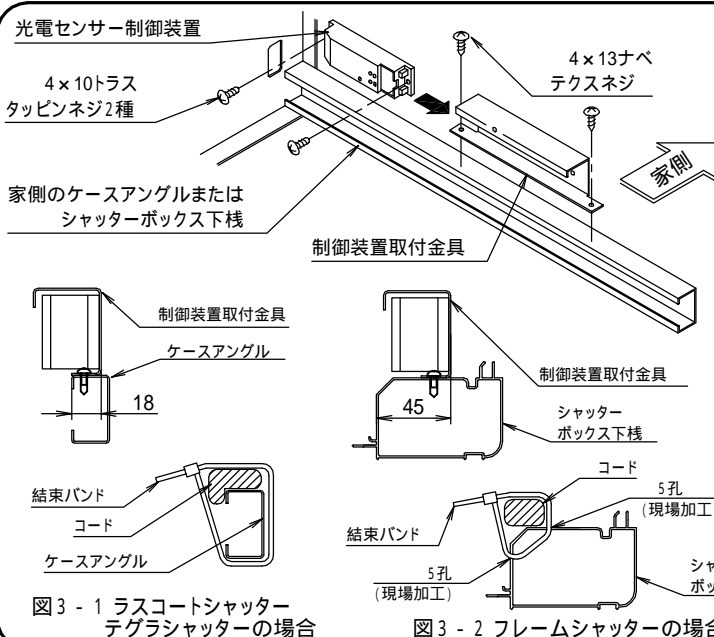


図3-1 ラスコートシャッター
テグラシャッターの場合

図3-2 フレームシャッターの場合

光電センサー制御装置を制御装置取付金具に 4×10トラス タッピンネジ2種を使用して取り付けてください。

制御装置取付金具を家側のケースアングルまたはシャッターボックス下棧に 4×13ナベテクスネジを使用して取り付けてください。

補足

ケースアングルまたはシャッターボックス下棧と制御装置取付金具の位置関係は図3-1、図3-2に従ってください。

シャッターがコードを巻き込まないように、結束バンドを使用してケースアングルまたはシャッターボックス下棧にコードを固定してください。

ポイント

テグラシャッター、ラスコートシャッターの場合、ケース取付時にコードを傷めないようにケースアングル上面にコードを固定してください。(図3-1参照)
フレームシャッターの場合、シャッターボックス下棧の上面と側面に 5孔を加工し、その孔に結束バンドを通してコードを固定してください。(図3-2参照)

4. 設定と調整方法

4 - 1 感度の設定

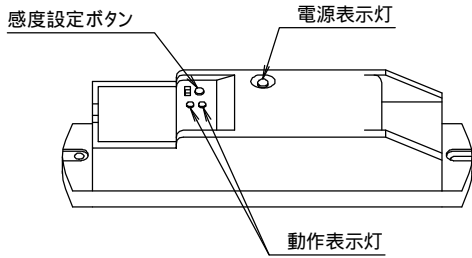


表 4 - 1 正常時と異常時のランプの状態

	正常時	異常時
	障害物がない	障害物がある 配線不良 光軸感度不良
電源表示灯	点灯(緑色)	点灯(緑色)
動作表示灯	消灯	点灯・点滅(緑、赤色)

センサーヘッドが正しく向き合っていることを確認し、電源を入れてください。

検出エリアに障害物がないことを確認して、「感度設定ボタン」を1秒以上押してください。

動作表示灯が点灯した後、消灯することを確認してください。これで適正感度に自動設定されます。

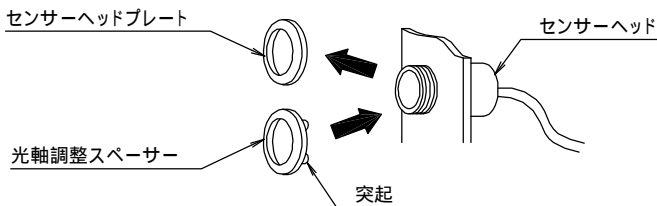
ポイント

動作表示灯の緑ランプと赤ランプが交互点灯する場合は感度設定がうまくできていません。下記内容を確認してください。

- ・投光部、受光部のセンサーヘッドが傾いていないか(光軸調整スペーサーで補正してください)
- ・レンズ面が汚れていないか
- ・配線の間違いや外れ・断線・ショートはないか

光電センサー制御装置にカバーを取り付けてください。

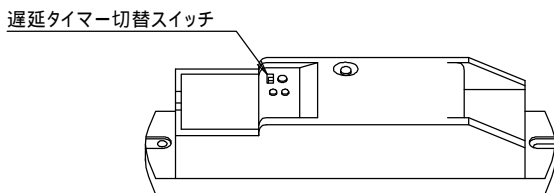
4 - 2 センサーヘッド角度微調整方法



センサーヘッド取付面の傾きが原因で感度設定がうまくできない場合、センサーヘッドプレートと同梱の光軸調整スペーサーに交換してください。

光軸調整スペーサーの突起位置を変えて、センサーヘッドの角度を微調整してください。

4 - 3 遅延タイマー切替えについて



補足

強風によるシャッターのたわみや猛吹雪による光軸の遮断により、シャッターが停止してしまう場合の対応方法です。

光電センサー制御装置の遅延タイマー切替えスイッチを0.1秒から1秒に切替えて、正常動作することを確認してください。

5. テグラシャッターでのタイル貼付け時の注意事項

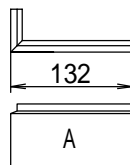
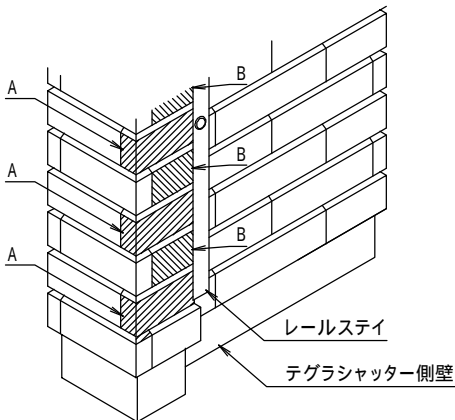


図 5 - 1 タイルA加工寸法

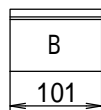


図 5 - 2 タイルB加工寸法

光電センサー仕様の場合、レールステイに接する道路側のタイルを現場カットする必要があります。図 5 - 1、図 5 - 2を参考にして現場加工してください。

本体取付説明書に戻り「下限設定」を行ってください。

JZZ609786A

取説コード

T004

200512A
200512B